

# 日本空調グループ

## 日本空調サービス(株)

本社・支店・営業所: 64拠点

## グループ会社

国内5社: 17拠点

海外8社: 10拠点(6カ国)

- 日本空調サービス(株)
- 日本空調システム(株)
- (株)日本空調北陸
- (株)日本空調東北
- 日空ビジネスサービス(株)
- イーテック・ジャパン(株)

- 蘇州日空山陽機電技術有限公司
- 上海日空山陽国際貿易有限公司
- NACS BD Co., Ltd.
- Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd
- NACS Singapore Pte. Ltd.
- NACS TPS ENGINEERING CO., LTD.
- NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.
- NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.

[www.nikku.co.jp](http://www.nikku.co.jp)

〈免責事項〉 本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。



### 拠点網の動向

- 2020年 4月 ● (株)日本空調東海を吸収合併により事業統合
- 6月 ● 中四国支店 水島出張所を岡山営業所に統合
- 7月 ● 筑波支店 鹿島営業所を新設
- 8月 ● NIPPON KUCHO SERVICES (M) SDN. BHD.の閉鎖
- NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.本社を移転
- 10月 ● 岐阜支店 高山営業所を移転
- 2021年 4月 ● (株)日本空調東北 六ヶ所営業所を移転・八戸営業所に改称 気仙沼営業所を移転
- 5月 ● 北海道支店 小樽営業所を廃止

※拠点情報につきましては、2021年5月31日現在で表記しております。



# 日本空調サービス株式会社

証券コード: 4658

今日をきれいにする。  
明日のために。

株主の皆様へ

# 第58期 報告書

2020年4月1日～  
2021年3月31日





## 日本空調グループ 経営理念

お客様に安心感を与える  
最適な環境を維持するために、  
技術力と人的資源を結集させ、  
高品質サービスを提供する。

全社員が一丸となって経営理念を共有し、  
お客様の満足度のより一層の向上を追求  
しております。

これからも、建物設備のメンテナンスサー  
ビスを通じて、建築物に要求される最適な環  
境を実現する「環境創生企業」として社会  
に貢献することが、私たち日本空調グルー  
プの使命であると考えております。

## CONTENTS

株主の皆様へ 2

業績ハイライト 3

特集  
日本空調グループ  
そこが知りたいQ&A 5

## NEWS

日本空調サービス提供の  
ミニドラマ、テレビCMを放送



株主様アンケート結果報告 7

今後の株主還元方針 8

会社情報 9

## 株主の皆様へ

事業活動を通じて社会的価値を創出し、  
全てのステークホルダーの幸せを  
追求してまいります。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に  
心よりお見舞い申し上げますとともに、  
医療関係者をはじめとする治療や感染防止に  
ご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

ここに当社2021年3月期  
(2020年4月1日から2021年3月31日)における  
営業の概況ならびに決算の内容等につきまして  
ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、  
今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、  
お願い申し上げます。

2021年6月  
代表取締役社長 田中 洋二



## 2021年3月期の連結業績

当社グループにおいては、サービスを提供する現場でのお客様との接点を最重要視し、状況に応じた新型コロナウイルス感染症防止対策を講じつつ、当社のノウハウを活かした「設備及び環境診断・評価」「ソリューション提案(省エネ・省コスト提案、環境改善提案)」を通じてお客様の潜在ニーズの掘り起こしに努め、新規物件の獲得や既存契約の維持に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い工場等一部施設への入場が制限され、メンテナンス及び工事業務が延期となったことなどにより、当連結会計年度の売上高は**49,152百万円**(前連結会計年度比**1.1%減**)となりました。利益面につきましても、新型コロナウイルスの感染防止対策費用や当社グループの医療現場等従事者に対して慰労金を支給したことなどにより、営業利益は**3,007百万円**(同**3.2%減**)、経常利益は**3,142百万円**(同**2.3%減**)となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、**1,998百万円**(同**5.2%増**)となりました。これは、前連結会計年度においてのれんの全額129百万円を減損損失として計上し、当連結会計年度においては償却済であることなどによりです。

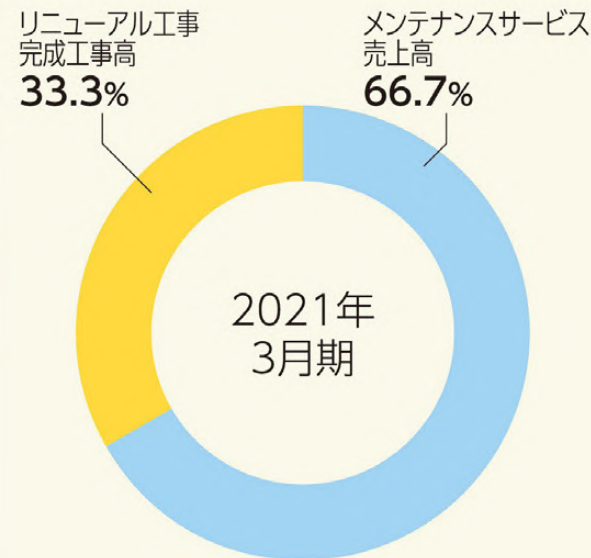
詳細な財務情報は、当社Webサイト [www.nikku.co.jp](http://www.nikku.co.jp) 掲載の決算短信をご覧ください。

[トップページ](#) ▶ [投資家情報](#) ▶ [IRライブラリ](#)

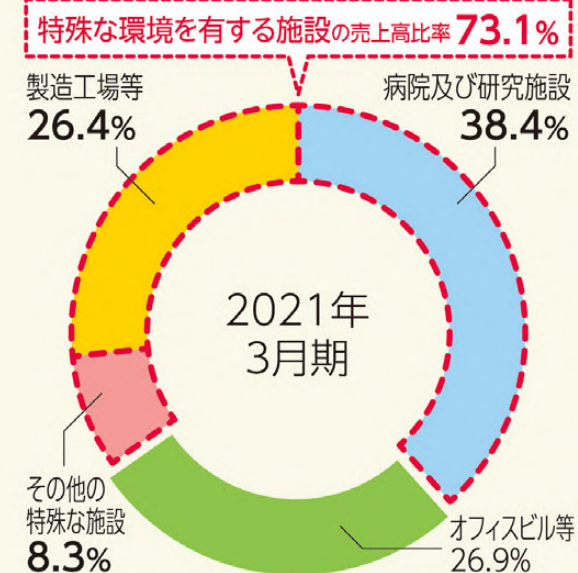


	2020年3月期	2021年3月期	変動
売上高	49,675 百万円	49,152 百万円	1.1% 減
営業利益	3,105 百万円	3,007 百万円	3.2% 減
経常利益	3,215 百万円	3,142 百万円	2.3% 減
親会社株主に帰属する当期純利益	1,899 百万円	1,998 百万円	5.2% 増

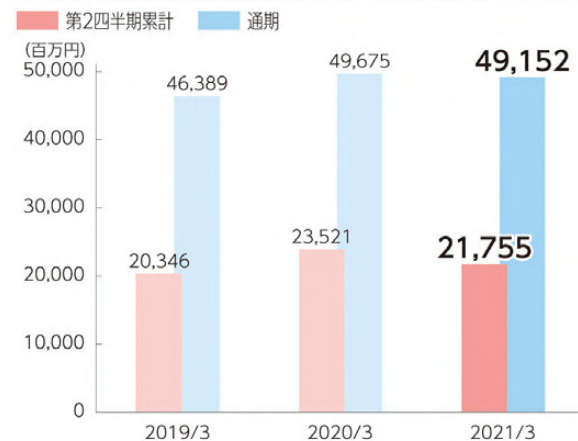
種類別売上高構成



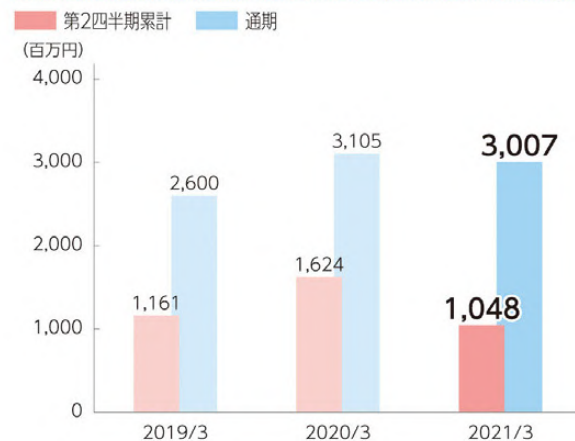
受託施設別売上高構成



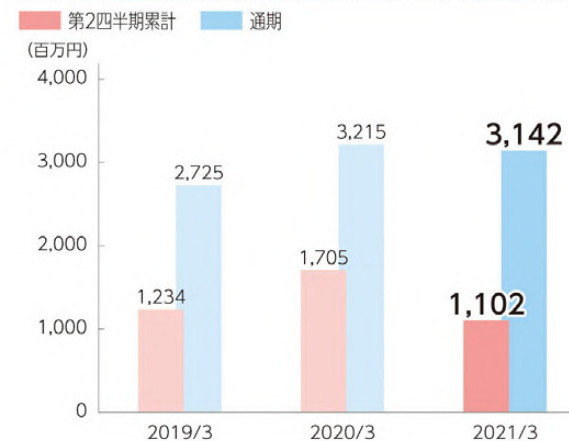
売上高



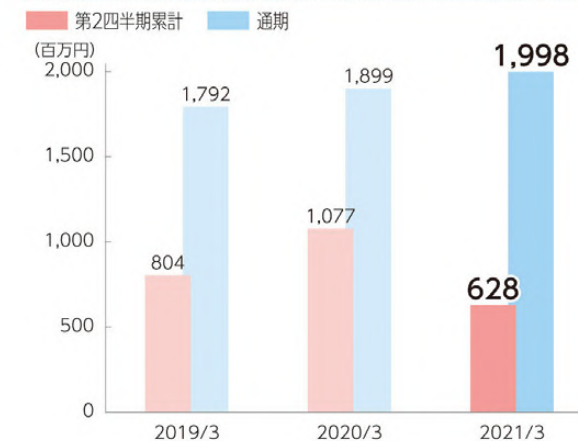
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

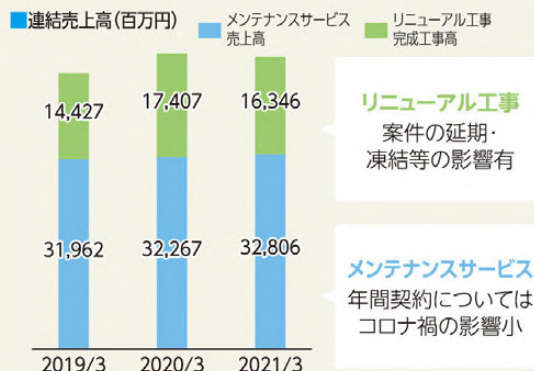


# そこが知りたい Q&A

**Q1** 2021年3月期におけるコロナ禍の影響について教えてください。

**A1** 上半期はコロナ禍の長期化で、スポットメンテナンス、リニューアル工事分野において、お客様の設備投資計画の見送り・規模縮小等の影響を受けましたが、下半期は上半期に比べて当該影響が改善しました。

## 影響の程度



**病院** コロナ禍による逼迫した状況下で、省エネの取り組みに対する優先順位が一時的に低下したが、その後、コロナ対策が浸透するにつれて省エネ・省コスト等に関するニーズは改善傾向となった

**製造工場等** コロナ禍による入場制限、お客様の設備投資計画の見送り・規模縮小の影響を受けた

- ▶ 上半期は大型連休期間のメンテナンス及び改修・増設工事等、大規模な仕事が緊急事態宣言の時期と重なり、案件の多くがストップ
- ▶ 下半期は延期されていた案件が少しずつ再開

**Q2** コロナ禍における病院での感染症対策について教えてください。

**A2** お客様の多くが新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れている大病院であるため、患者の受け入れ環境の整備を最優先に、以下の感染症対策を実施いたしました。

## 主な感染症対策

- 病室の陰圧化<sup>※1</sup>、人の動線の最適化、ゾーニング<sup>※2</sup>等**  
※1 室内の気圧を外部より低く保つことで、汚染された空気が外部へ漏れることを防ぐ方法。(空気は圧力の高い方から低い方に流れる)  
※2 感染症患者の入院病棟において、清潔区域(グリーンゾーン)と汚染区域(レッドゾーン)、その境界線の中間区域(イエローゾーン)を区分けすること。
- 新型コロナウイルス感染症患者の治療に従事される医師、看護師、病院スタッフ、関係者の皆様の防護措置等**
- 二次感染防止対策**  
 院内に常駐する当社従業員もレッドゾーンでの作業の際には防護服の着用や消毒を厳守  
 ▶ 建物の構造等、各病院で状況が異なるため、病院側と相談を重ねながら「何が本当に良い方法か」を試行錯誤しながら実行



**Q3** 2022年3月期(連結)の業績予想と今後の見通しについて教えてください。

**A3** 2022年3月期(連結)業績予想は以下の通りです。

(単位:百万円、%)

連結(累計期間)	金額	前年同期比増減率
売上高	52,000	+5.8
営業利益	3,000	▲0.3
経常利益	3,100	▲1.4
親会社株主に帰属する当期純利益	1,950	▲2.4

利益減少理由 ①コロナ禍による厳しい受注環境が続くと想定  
 ②事業の成長に向けた人材の積極的な採用による人件費増加  
 ▶ 人的資本の価値向上を目的とした先行投資

## ■新卒採用人数の推移(連結)

入社(年度)	2017	2018	2019	2020	2021
新卒採用数(名)	59	67	77	75	104

## 今後の見通し(コロナ禍の収束が前提条件)

- ①感染再拡大等の先行き不透明な状況から新規営業活動の制限等が続くものの、その影響の程度は従来以上に拡大しないと仮定
- ②2050年カーボンニュートラルの実現<sup>※</sup>等、国内外ともに環境保全に関心が高まっている昨今、省エネや省コスト等に関する顕在及び潜在ニーズの高い状況が継続する  
※2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。
- ③コロナ禍の収束時期は未だ不透明だが、二次感染防止対策(換気回数・設備の増強、給排気バランスの調整・改善維持等)も含めた適切な建物管理への関心・ニーズの高い状況が継続する
- ④二次感染防止対策による空調エネルギー等に関わる負荷・コスト増加の課題に対し、**感染防止対策と省エネ・省コストの両立に向けた最適解を考え出し、お客様のニーズに沿ったサービスを提供する**

## NEWS

### 中京テレビにて日本空調サービス提供のミニドラマ、テレビCMを放送いたしました。

放送地域:愛知県、岐阜県、三重県 放送期間:2021年1月5日~3月31日

#### ①ミニドラマ「空気Dr.マモル」

本編2分15秒+CM15秒  
 中京テレビ制作の空調に関連するミニドラマ。  
 主演:ロッチ(中岡創一さん、コカドケンタロウさん)  
(番組提供として日本空調サービスの社名が表示)

こちらから視聴できます

#### ②テレビCM「神秘的森篇」

企業ブランディングを目的としたイメージCM。  
 心地よい映像と音楽で神秘的なイメージを演出。  
 出演:モデル・西村円花さん



今後も企業ブランディングを目的とした広告展開を推進することで、企業価値の向上に取り組んでまいります。

第58期上半期報告書ご送付の際に同封しました「株主様アンケート」につきまして、以下に集計結果の一部を掲載させていただきます。

※本誌に掲載しきれなかった内容につきましては、当社Webサイトに公開しております。

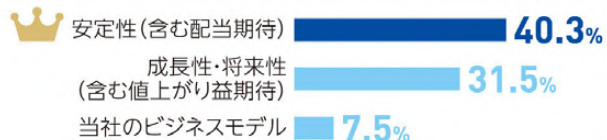
Scan Me!



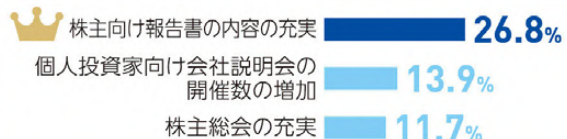
Q 当社株式を購入・取得されたきっかけ



Q 当社株式購入の際、もっとも重視したこと



Q 今後の当社のIR活動について期待されること



※上位3位までを抽出

株主様からのご意見 ※一部抜粋

- 業績の割に株価が安いと思う。株価対策の取り組みに期待している。
- 知名度を上げる活動に積極的に取り組んでほしい。
- IRイベントで、特殊空調の分野は参入障壁が高いと話をうかがい、面白いと思い株式を購入した。
- 業務内容が特殊で一般消費者からは見えにくいいため、個人投資家向けに分かりやすい説明をしてほしい。
- コロナ禍で空調は必要度が増しているように思う。
- 医療従事者が業務に専念できる環境を作っているという意味で御社も新型コロナウイルスと闘っているといえる。

貴重なご意見を多数いただき、ありがとうございました。頂戴いたしましたご意見は、今後の経営とIR活動の参考にさせていただきますと考えておりますので、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当社グループは、「1株当たり当期純利益(EPS)」を重要な指標と捉え、2024年3月期に54円とすることを目標に取り組んでまいります。

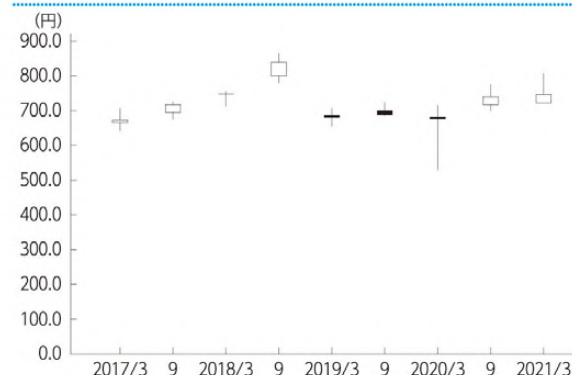
※現時点で新型コロナウイルス感染症の事態収束を正確に見通すことが困難な状況において、性急に新たな数値目標を策定することは正確な情報開示に当たらないと判断し、2019中期5ヵ年経営計画の数値目標は据え置きとしております。

利益還元の基本方針につきましては、現在進行中の「2019中期5ヵ年経営計画」の実現を通して、配当の原資となる利益を継続的に向上させるとともに、連結配当性向50%を維持してまいります。

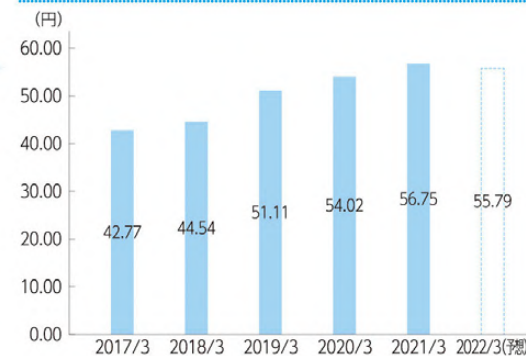
2021年3月期の配当につきましては、中間配当を1株につき12円50銭とさせていただきました。また、期末配当につきましては、2021年3月期の業績等を総合的に勘案した結果、2020年5月14日公表の配当予想の1株当たり12円50銭に対し、3円50銭増配の16円とすることで、年間で28円50銭(連結配当性向50.2%)とさせていただきました。

2022年3月期の配当につきましては、中間配当と期末配当をそれぞれ1株につき14円とし、年間で28円(連結配当性向50.2%)とさせていただきます。

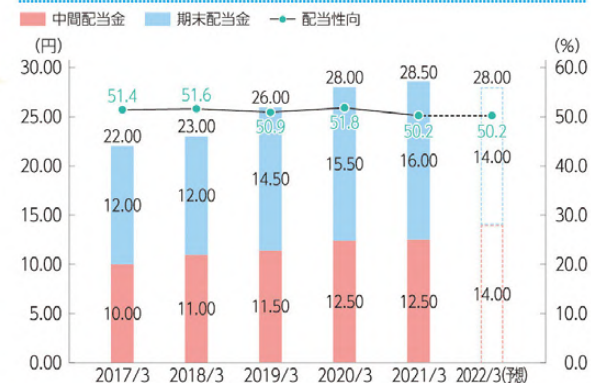
株価



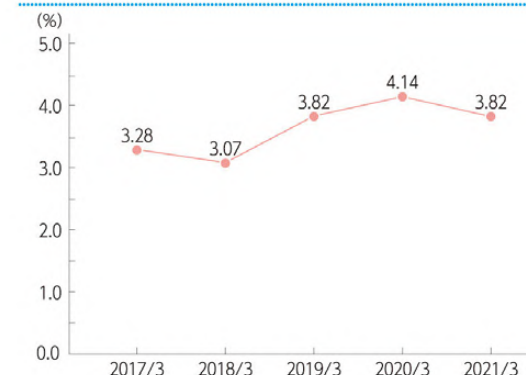
1株当たり当期純利益



1株当たり配当金・配当性向



配当利回り



## 会社概要

(2021年3月31日現在)

- 商号 日本空調サービス株式会社  
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.
- 住所 〒465-0042  
愛知県名古屋市名東区照が丘239番2
- TEL 052-773-2511 (代表)
- 設立 1964年(昭和39年)4月28日
- 資本金 1,139,575千円
- 事業内容 総合建物設備メンテナンスサービス業
- 従業員数 1,376名

## 役員

(2021年6月18日現在)

取締役	
代表取締役社長	田中 洋二
取締役	草野 幸士
取締役	中町 博司
取締役	室谷 敏彰
取締役	田中 登志男
取締役	東本 強

執行役員	
執行役員	中司 等
執行役員	草野 幸士
執行役員	依藤 敏明
執行役員	首藤 健
執行役員	松井 正
執行役員	南 清司
執行役員	諏訪 雅人
執行役員	白石 一彦
執行役員	横井 智明

監査役	
常勤監査役	小林 正博
常勤監査役	中島 雅利
監査役	渡邊 資史
監査役	寺澤 実

- (注) 1. 取締役 草野幸士は、執行役員を兼務しております。  
 2. 取締役 田中登志男氏及び東本強氏は、社外取締役です。  
 3. 取締役 田中登志男氏及び東本強氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。  
 4. 監査役 中島雅利氏及び寺澤実氏は、社外監査役です。  
 5. 監査役 中島雅利氏及び寺澤実氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

## 株式情報

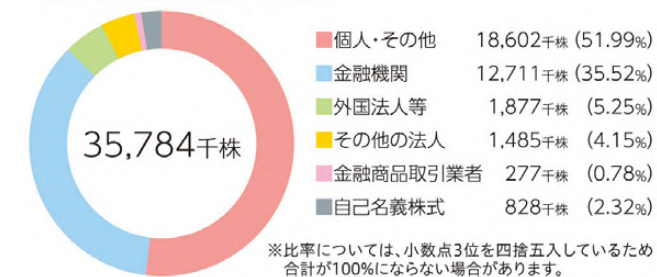
(2021年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 72,000,000株
- 発行済株式総数 35,784,000株
- 株主数 6,607名
- 大株主の状況

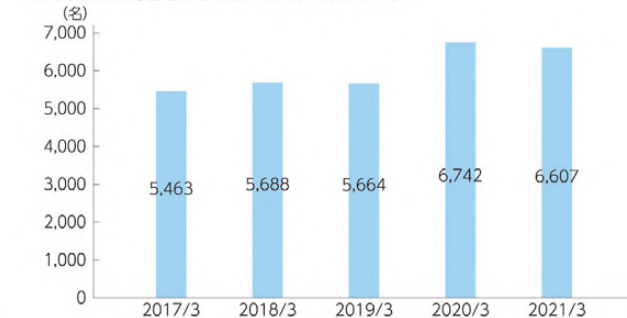
株主名	持株数(千株)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,940
日本空調サービス従業員持株会	2,524
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,279
株式会社三菱UFJ銀行	1,640
株式会社愛知銀行	1,336
東京海上日動火災保険株式会社	1,128
重田 康光	1,003
岐阜信用金庫	800
K I A F U N D 1 3 6	688
岡地 修	578

※当社は自己株式(828千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

### 所有者別株式分布状況



### 株主数推移(自己・機構名義含む)



### 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.nikkei.co.jp">www.nikkei.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

- ご注意
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
  3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。